

2018 年度 事業報告

(期間： 2018 年 4 月 1 日 ～ 2019 年 3 月 31 日)

1. 事業状況

(1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・2018 年度「京都ヒューマン賞」の贈呈式を 2018 年 6 月 5 日、リーガロイヤルホテル 京都にて、授賞者および授賞関係者はじめ、京都府や京都市、オムロン株式会社からの来賓、オムロン基金の役員や委員に出席いただき、盛大に開催した。

【授賞者・団体】

- ・鷲巢典代氏 公益社団法人 認知症の人と家族の会 理事、同法人京都府支部 世話人
- ・公益財団法人 京都YWCA・APT
- ・特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ

- ・上記贈呈式に先立ち、4 月 6 日に京都ヒューマン賞の授賞者決定のプレス発表を行った。
- ・6 月 5 日、Facebook を通じて、「2018 年度 京都ヒューマン賞」贈呈式の開催について告知した。
- ・8 月 29 日に「2019 年度 京都ヒューマン賞授賞候補者・団体を募集」について、プレス発表およびホームページ、京都府のメーリングリストにより告知を行った。また、9 月 3 日に Facebook を通じて告知を行った。
- ・2019 年 2 月 18 日開催の選考委員会で、「2019 年度 京都ヒューマン賞」の最終授賞候補者・団体（1 個人、2 団体）を選出し、3 月 14 日開催の第 32 回理事会にて授賞者・団体を最終決定した。

【授賞者・団体】

- ・社会福祉法人 リガーレ暮らしの架け橋 理事長 山田尋志氏
- ・はだしのコンサート実行委員会
- ・社会福祉法人 えのき会

(2) 助成事業

- ・2018 年度の一般助成事業は、申請数 52 件に対して助成実施は 50 件(前年度比 6 件減)、総額 6,487,260 円（前年度比約 5 万円増）の助成を行った。予算の 650 万円とほぼ同額。
- ・2018 年度からスタートした子ども食堂への助成は、申請数 34 件に対して助成実施は 33 件、総額 2,957,000 円の助成を行ったが、予算 350 万円に対しては約 54 万円下回った。しかし、助成した全ての子ども食堂を視察したことにより、助成制度の課題が明らかとなり、2019 年度の助成制度の改定に反映させた。

2. 事業拡大に向けた検討

- ・新たな助成制度として、2018 年度から子ども食堂への助成をスタートしたが、従来の実施頻度だけをもとに助成上限金額を設定することについては改善が必要と判断した。2019 年度からは、実施頻度に加えて利用人数も考慮することとし、年間の総利用者数により子ども食堂ごとに助成上限金額を設定する制度に改定する案を理事長に提出し、1 月 15 日付で理事長承認を得た。

3. オムロン基金の事業認知度向上のための広報活動

- ・子ども食堂助成制度の創設について、制度を紹介するパンフレットを新規作成し、京都府、京都市をはじめ府内市町村の関連部門、社会福祉協議会等に配布した。また、事務局長が府内の子ども食堂 36 ケ所を順次訪問し、オムロン基金子ども食堂助成制度について説明を行い、助成申請を呼びかけた。
- ・2019 年度から子ども食堂助成制度を改定するにあたり、新たにパンフレットを作成し、2018 年度に助成を行った子ども食堂、助成検討中の子ども食堂、京都府および京都市の担当部門、府下市町村および社会福祉協議会に発送し、周知を図った。
- ・オムロン基金の事業認知度を向上させるために、6 月にオムロン基金の活動と申請方法等を紹介する A4 判のチラシを改訂して 3 万枚作成し、府内市町村の関連部門や社会福祉協議会などの関係先等に送付した。
- ・京都府の地域力再生メーリングリスト（登録人数 約 1,900 名）を利用したメールおよびオムロン基金のホームページや Facebook への投稿、プレス発表を通じて、助成金制度や京都ヒューマン賞の候補者募集についての告知を行った。

4. 満期を迎えた基本財産

- ・基本財産のうち、「第 316 回大阪府 10 年公債」（額面 2,400 万円）が 2018 年 7 月 30 日に満期を迎えた。新たな債権への買い換えを検討したが、格付けや償還期間、利率の面で適当な債権がなく、三菱UFJ 銀行の定期預金で保有している。

5. 経常収益

- ・当法人の収入は、基本財産の債券運用によって得られる運用益とオムロン株式会社株式 20 万株の配当金、オムロン株式会社からの寄付金によって構成されている。
- ・債券運用益は、満期を迎えた債券を定期預金で保有していることもあり、前年度の 462 万円から 454 万円へ約 8 万円減少した。
- ・オムロン株式会社株式 20 万株の配当金収入は、配当金が 1 株あたり年間 8 円増配の 80 円となり、1,600 万円となった（予算比 80 万円増、前年度比 160 万円増）。このうち、10 万円を事業積立資産に繰り入れ、当年度経常収益には 1,590 万円を計上した。
- ・2018 年度は、オムロン株式会社から前年度と同額の 500 万円の寄付をいただいた（法人運営費用として 500 万円）。このうち 320 万円を法人運営積立資産に繰り入れ、当年度経常収益には 180 万円を計上した。
- ・以上により、公益目的事業会計の経常収益額は 1,771 万円、法人会計の経常収益額は 452 万円、経常収益合計は 2,224 万円となった（予算比約 306 万円減、前年度実績比約 128 万円減）。
- ・公益目的事業会計の収支相償は、約 7 万円の赤字。

6. 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）はありません。

7. 対処すべき課題

- ・新しい助成制度の子ども食堂助成制度の周知、子ども食堂の実態把握と助成制度の検証を引き続いて行う。

8. 理事会、評議員会、選考委員会等の開催

2018 年 4 月 20 日 監事による監事監査（計算書類および事業報告等の監査）

2018年5月7日 第29回理事会（みなし決議）

- 議案 ・ 2017年度事業報告および計算書類承認の件
・ 第13回定時評議員会招集の件

2018年6月5日 第30回理事会

- 議案 ・ 株主権行使承認
・ 京都府への事業報告等に係る提出書類承認
・ 主たる事務所移転の承認
報告 ・ 理事長および専務理事の職務執行状況報告

2018年6月5日 第13回定時評議員会

- 議案 ・ 2017年度計算書類等承認
・ 評議員の選任
・ 理事の選任
・ 監事の選任
報告 ・ 2017年度事業報告
・ 2018年度事業計画および収支予算の報告
・ 株主権行使承認の報告

2018年6月5日 第31回理事会

- 議案 ・ 代表理事（理事長）の選定
・ 業務執行理事（専務理事）の選定

2018年8月9日 第14回評議員会（書面決議）

- 議案 ・ 理事の選任

2019年2月18日 2019年度「京都ヒューマン賞」選考委員会

- 議案 ・ 京都ヒューマン賞 最終授賞候補者・団体の選考

2019年3月14日 第32回理事会

- 議案 ・ 2019年度「京都ヒューマン賞」授賞者・団体承認
・ 長期継続助成の承認
・ 選考委員の選任
・ 「基本財産及び特定資産管理規程」の改定
・ 2019年度 事業計画および収支予算承認
・ 事業積立資産および法人運営積立資産の積み立て、取り崩し承認
・ 第15回評議員会招集承認
報告 ・ 2018年度 助成事業の状況報告
・ 「オムロン基金 子ども食堂助成制度」の助成上限金額の改定
・ 2018年度 事業報告および決算見込み報告
・ 理事長および専務理事 職務執行状況報告

2019年3月●●日 第15回評議員会（書面決議）

- 議案 ・ 「基本財産及び特定資産管理規程」の改定

以上